

令和3年郡山市議会9月定例会提案理由

(令和3年9月2日)

令和3年郡山市議会9月定例会の提案理由の説明に先立ち、職員の事務処理等の誤りについて御報告申し上げます。

本年5月に発送した熱海町中山地区の農業集落排水施設使用料の徴収事務において、算定基礎となる水道使用量の入力を誤り、過小請求16件、過大請求8件、合計24件の請求額に誤りがありました。

また、後期高齢者医療保険料の算出に必要な住民異動情報について、福島県後期高齢者医療広域連合への一部データの送信漏れにより、対象者1名の平成31年度及び令和2年度保険料の還付が生じる事案が発生いたしました。

7月には、PCR検査で採取した15名の検体について、誤って運搬業者から空の容器を受け取り、検体が入ったままの容器を返却したことにより常温で保管されたため、再度検体を採取する事態に至りました。

8月には、市民12名分の個人情報に記載された名簿を、誤って市内の個人宅へFAX送信する事態が生じました。なお、当該個人からの情報流出がないことを確認しております。

今回御迷惑をおかけした皆様には、それぞれお詫びと事実経過の説明を行い御了承いただいたところであります。

市民の皆様大変御心配をおかけし、改めてお詫びを申し上げますとともに、今後は、事務におけるチェック体制の強化等改善を図り、信頼性を高める適正な事務執行に努めてまいります。

次に、新型コロナウイルス感染症の対応等について申し上げます。

市民の命と健康を守るため、医療従事者の皆様をはじめ、感染症の対応に最前線で懸命に御尽力いただいております関係の皆様、深く敬意と感謝の意を表します。また、議員各位はじめ、感染拡大防止に向け、様々な御対応をいただいております市民の皆様、事業者の皆様に対しまして、心から御礼を申し上げます。

県内においては、飲食等を由来とするクラスターが、これまで147件発生し、加えて、県外から帰省した家族や友人からの感染等により、10代、20代の若い世代を中心に感染が広がりを見せ、全県的な医療提供体制のひっ迫により自宅療養者が急増するなど、極めて深刻な状況が続いております。

このような状況において、本市では、ドライブスルー方式による飲食店従業員に対するPCR検査100件を実施したほか、7月26日からは、福島県と協力し、市内全域の飲食店等約2,200店舗を対象に直接訪問し、営業時間短縮などの協力要請を行っております。また、8月5日には、内堀福島県知事、福島市長及びいわき市長とのWEB会談に出席し、不要不急の外出や県境を越える移動、大人数、長時間の会食を控えていただくことなど、感染拡大防止に向けた共同メッセージを発出したところであります。

しかしながら、本市の感染者数は、9月1日現在、入院中が44人、宿泊療養中が43人、自宅療養中が65人、退院された方が1,796人で、累計では1,948人となっており、特に、8月には592人と2箇月連続で過去最多を更新するなど、新規感染者数の高止まりが続いております。

罹患された方々、御家族様並びに関係者の皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い回復をお祈りいたします。

こうした状況を踏まえ、市内の感染拡大を早期に食い止めるため、去る8月20日、県知事に対し、「まん延防止等重点措置」の適用を要請し、同日、8月23日から9月12日までを措置期間とする決定がなされたところであります。

現在、第5波が猛威を振るい、県内中核市3市全てが「まん延防止等重点措置」の適用を受けるという極めて厳しい状況に思いを致し、引き続き、関係機関との連携のもと、感染症対策に最善を尽くしてまいりますので、既にワクチンを接種された方々も含め、お一人おひとりの心がけと弛まぬ取組について、市民の皆様への御理解と相互協力をお願い申し上げます。

かかる状況に鑑み、本定例会には、感染者の急増に対応する市内医療機関への支援と社会経済活動を支える追加予算を提出しております。

次に、新型コロナウイルスワクチンの接種状況について申し上げます。

4月12日から開始しました65歳以上の高齢者90,377人については、8月31

日現在で、2回目の接種を完了された方が75,898人、接種率は、84.0%となり、希望される高齢者の方の接種について概ね完了したところであります。

一般の方々については、高齢者へのワクチン接種が概ね順調に進んだことから、当初の予定を前倒しし、6月28日に60歳から64歳の方に接種券の発送を開始した後、7月21日までに12歳以上の全ての対象者202,611人に接種券を発送いたしました。

また、優先的に接種を実施した居宅介護サービス事業所の従事者については7月18日に、窓口業務や災害対応業務に従事する市職員については8月6日に、保育士や幼稚園教諭等については8月11日に、小中学校の教職員等については9月1日に、合計7,091人の接種を完了いたしました。

さらに、ワクチン接種を推進するため、郡山商工会議所及び郡山地区商工会広域協議会との連携のもと、国の職域接種の対象とならない中小企業の従業員等を対象とした「郡山版職域接種」を、7月26日から市内42か所の協力医療機関において開始いたしました。8月31日現在、申込みのあった1,150事業所、10,486人について、医療機関と調整を図りながら11月中旬の完了を目指し接種を進めているところであります。

これらの取組により、8月31日現在で、対象者292,988人に対して、1回目の接種を終えた方が169,322人で接種率57.8%、2回目を終えた方が133,826人で45.7%となっており、現時点では、11月末までには、約80%の方が接種を完了する予定であります。

なお、妊婦の方々については、先月23日、ワクチン接種を実施している市内11の産婦人科医療機関に対して、希望により優先的な対応をとっていただくよう通知したところであります。加えて、感染した場合、リスクが高いとされている妊娠後期を迎える方々331人とその配偶者等を対象に、今月13日から集団接種会場において優先接種を実施することといたしました。

今後におきましても、^{さとうまさやす}佐藤昌保郡山医師会副会長が座長を務め18人で構成される「郡山市新型コロナウイルスワクチン接種専門委員会」の御指導のもと、希望される方が、可能な限り早い時期にワクチン接種を受けられるよう、取り組んでまいります。

次に、**市政を取り巻く情勢**について申し上げます。

はじめに、**国の動向**についてであります。

去る7月7日に閣議了解された「2022年度予算の概算要求基準」においては、新型コロナウイルス対策関連予算は別枠とした上で、「グリーン社会の実現」、「デジタル化の加速」、「地方創生」、「子ども・子育て支援」の4分野に予算を重点配分するため、4兆4,000億円規模の「新たな成長推進枠」が設けられました。これら国の政策動向を注視し、時機を逸することなく市民生活、地域経済に即連動させるため、引き続き、本市の来年度予算編成を見据え、迅速な情報収集と的確な対応に努めてまいります。

また、今月1日には、デジタル社会の形成に向け主導的な役割を果たす「デジタル庁」が設置されました。今後、「デジタル改革関連6法」のもと、DXの推進が見込まれる中、本市においても、内閣官房IT総合戦略室参事官浦上哲朗氏うらかみてつろうによるオンライン講演会を7月19日に開催し、受講したこおりやま広域圏職員を含む116名が、国の施策等について理解を深めたところであります。

次に、**最近の景気動向と雇用情勢**について申し上げます。

我が国の経済について、内閣府は、8月の月例経済報告において、「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。」として基調判断を据え置いております。

また、日銀福島支店は6月の金融経済概況において、「県内景気は、感染症や半導体不足の影響から、持ち直しの動きが鈍化している。」としております。

雇用情勢については、郡山公共職業安定所管内の7月の有効求人倍率は1.43倍となっており、前月比で0.03ポイント上回り、県全体の倍率と比較しますと、0.09ポイント上回っております。引き続き、情報の収集・分析・提供に努めてまいります。

次に、**農作物の生育状況**について申し上げます。

7月は、平年よりも早く梅雨明けとなり、8月も比較的天候は良好で、水

稲、野菜、果樹類の生育は、平年よりも早く推移しております。なお、先月、東北農政局が発表した8月15日現在の福島県の水稲の作柄概況は「平年並み」となっております。

今後とも、気象変動等に十分注意しながら、関係機関及び農業団体等と連携を密にし、農家の生産支援に最善を尽くしてまいります。

続きまして、**当面する市政の課題及び提出議案の概要**について申し上げます。

はじめに、こおりやま広域連携中枢都市圏については、8月11日開催の「こおりやま広域連携中枢都市圏連携推進協議会」において、磐梯町の佐藤淳一^{さとうじゅんいち}町長から本圏域への加入意向が示されました。今後、議会にも適宜御報告しながら、年度内の加入手続きを進めてまいります。

コロナ禍においても、引き続き、「交信」「交易」「交通」を活性化させ、長期的視野に立った持続可能な圏域の創生に向けて、公民協奏型パートナーシップを一層深化させてまいります。

次に、東京2020オリンピック・パラリンピックについては、52名のハンガリーオリンピック水泳代表チームが、7月9日から25日、9名のパラリンピック水泳代表チームが、8月14日から22日まで、本市において事前キャンプを実施いたしました。受入れにあたりましては、コロナ禍において制約がある中、「郡山ビューホテル株式会社」様、「株式会社報徳観光バス」様はじめ、多くの関係者の御協力のもと、安全安心な充実したキャンプとすることができました。関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

オリンピック・パラリンピックにおいては、キャンプでの順調な調整により実力を発揮し、見事メダルを獲得するなど、多くの選手が入賞を果たし、選手・スタッフの皆様から、市民の皆様に対し、多くの感謝の言葉をいただいております。

今後も、交流を通じ友好親善と国際理解の深化を図り、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした両国の友好関係のレガシー創出に努めてまいります。

それでは、提出いたしました**議案の概要**について申し上げます。

はじめに、「**新型コロナウイルス感染症への対応**」についてであります。

感染症対策については、検体採取や診療に当たる医療機関への切れ目ない支援に要する経費のほか、ワクチン接種年齢拡大に伴う接種体制の強化に要する予算を追加計上しております。

事業者の支援については、中小企業等応援プロジェクトとして、「まん延防止等重点措置」適用等の状況を踏まえ、特に影響が大きい宿泊・飲食サービス業等の売上減少事業者の支援に要する予算を計上しております。また、ウェブ会議システム導入等による感染拡大防止やデジタル技術を活用した生産性の向上など、産業DX・事業者DXによる経営体質の強化支援に要する予算を計上しております。

雇用維持支援については、国の雇用調整助成金等の特例措置期間の延長に伴い、雇用継続支援補助金の対象期間を延長し、雇用の安定と事業運営の継続を図ります。

農業分野への支援については、外出自粛要請等に伴う米価下落によるコメ農家の経営安定を図るため、主食用米から飼料用米への緊急転換に係る支援拡充に要する予算を計上しております。

小・中・義務教育学校の感染症対策等については、コロナ禍における保護者負担の軽減を図る学校給食費の支援継続に加え、学校トイレ清掃業務委託を3学期も継続し、児童生徒が安心して学べる教育環境の整備に努めてまいります。

なお、保育所、認定こども園等を含め、小中学校等には、既定予算による不織布マスクや手指消毒液など、衛生用品の十分な確保に加え、必要に応じ、予備費活用による時宜にかなった感染症対策を講じてまいります。

「子ども・若者・子育て世代」への支援については、子ども食堂の感染拡大防止対策費用を補助するほか、コロナ禍で「出会いの場」が制限されている若者の婚活支援、医療従事者やひとり親家庭などの病児保育利用者への支援延長に要する予算を計上しております。

続きまして、「懸案事項の早期解決と行政課題への対応」についてであります。

はじめに、地球温暖化対策については、水素社会の実現に向けて公民協奏による燃料電池自動車の普及促進を図るため、公用車F C V更新に要する予算を計上しております。

次に、流域治水対策の推進については、浸水被害軽減に向けた雨水貯留機能の向上を図るため、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」並びに「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の主旨を踏まえ、逢瀬川流域のため池実態調査と田んぼダムの普及促進等に要する予算を計上しております。

次に、保育環境の充実については、待機児童ゼロの継続と特別な配慮が必要な児童への支援体制を強化するため、開成保育所を増築する予算を計上しております。

次に、介護保険施設の充実については、「第八次郡山市介護保険事業計画」に基づき、特別養護老人ホームの整備を促進するため、債務負担行為予算を計上しております。

次に、(仮称)歴史情報・公文書館施設整備事業については、今後の事業費に充てるため、文化施設整備基金への積立金を計上するほか、来年度予定の麓山地区立体駐車場工事に伴う臨時駐車場の整備に要する予算を計上しております。

次に、道路等の整備については、安全・安心で快適な生活環境を維持するため、舗装補修や水路側溝の改修等に要する予算を追加計上しております。

次に、災害復旧関連事業については、本年4月の降霜により被害を受けた農家に対し、安定生産・品質確保を図るため、さらなる支援強化に要する予算を計上しております。また、福島県沖地震関連では、建物調査の進捗による申請件数の増加等に対応するため、被災家屋等の解体、撤去等に要する予算を追加計上するほか、被災した「開成館」について、有識者の意見等を踏まえた復旧・維持・改善方針の策定と建物構造調査等に要する予算を計上しております。

以上が提出議案等の概要であり、この結果、**一般会計補正予算案**は、82億6,511万5千円、累計では、1,390億755万8千円となり、前年度同期に比較し、26.9パーセントの減となります。

また、**特別会計補正予算案**は、前年度繰越金の確定に伴い補正する国民健康保険特別会計など、19の特別会計において、それぞれの目的に沿った経費を計上しております。

この結果、特別会計補正予算総額は、8億1,373万7千円、累計では、1,022億5,949万4千円、前年度同期に比較し、3.0パーセントの増となります。

従いまして、一般及び特別両会計の補正予算額は、90億7,885万2千円、累計額は、2,412億6,705万2千円となり、前年度同期に比較し、16.6パーセントの減となります。

次に、**条例及びその他の議案**としては、「郡山市保育所条例の一部を改正する条例」など、条例議案4件、「工事請負契約について」など、その他の議案4件を提出しております。

よろしく御審議の上、御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本会期中に令和2年度の各会計歳入歳出決算認定議案、並びに人事案件を追加提出いたしますので、あらかじめ御了承をお願い申し上げます。

以 上